

経済為替ニュース

SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED FX NEWS

第2109号

2012年04月09日 (月曜日)

《 Sharp slowdown in US jobs growth 》

この週末の新聞で、金曜日に発表された米雇用統計を一番端的に表現していたのはフィナンシャル・タイムズの記事見出しでした。「Sharp slowdown in US jobs growth」と主見出しを打ったあとで、「Doubts revived over US recovery's strength」と副見出しを付けた。

実際のところ、市場では非農業部門就業者数で20万を割るプラス数字を予想していた向きはそもそも少なかったから、わずか12万増と伝わったときには驚きが広がった。グッド・フライデーでごく短時間しか開かなかった先物の株式市場では株価が下がり、債券は10年物で12ポイントほど下落して2.05%に、ドルが外国為替市場で円など各国通貨に対して下がった。対円は81円台の前半に。今朝のドル・円は81円台の半ばで比較的落ち着いた着いている。

もっとも、「3月の統計はあまり良くないかもしれない」という見方は以前から一部にはあった。寒波に襲われたヨーロッパとは違って、今年のアメリカは非常に暖冬だった。建設作業などに携わる労働者の数は、いつもの年より冬場でも多かったと言われる。例年だったら3月になって増える職が、前倒しでその前の月の統計に織り込まれている可能性がある、と言われていたのだ。しかし、統計発表の直近にはこうした慎重な見方はあまり見られず、過去数ヶ月続いた「20万人超」の数字でアメリカ経済の強さを確認しよう、という雰囲気になっていた。

その結果は、FTの副見出しの言うように「Doubts revived over US recovery's strength」(アメリカ経済の強さを巡る疑念が復活)ということになったが、統計の中味(<http://www.bls.gov/news.release/jec.nr0.htm>)を見ると、製造業や飲食分野 (Food services and drinking places) では各37000人の雇用増加になっているものの、小売業が34000人もの減少になっているのが目を引く。先に発表された米小売売上高は好調だったが、車の販売好調でそれ以外の商店の売り上げ不調が隠れているとの見方もあった。今回の雇用統計はその見方を一部で裏付けたといえる。一部には、今はFRBが見送っているQE3発動の可能性を指摘する向きもある。しかし、量的金融緩和が景気におよぼすプラス効果は、日銀の金融政策の実験を見てもあまり大きくない。アメリカの場合も主に「株高」を生んだだけでも言える。しかし今後FRBは政治的には何かをしなければならない状況に追い込まれるかもしれない。

失業率は8.2%に下がったが、これは職を探す人の減少を背景とするだけに素直に喜べる統計ではない。「今後のアメリカ経済の先行き」には市場は懸念を持って見守ることになろう。これまでは雇用情勢の改善と米共和党の候補者選びの醜さがオバマ大統領にとっての大統領選挙での有利材料だったが、この二つともそうではなくなる可能性がある。

それは、雇用情勢そのものが秋の選挙の時には悪化している可能性が出てきたことと、共和党の候補者選びも徐々にロムニーに固まりつつあることだ。ロムニーは必ずしも強い候補ではなく共和党の中でも「勝てる候補か」と疑念の声が消えないが、だからといってアメリカ国民が経済でこれといった実績のないオバマを支持し続けることはないかもしれない。

《 North Korea 'planning third nuclear test' 》

しかし今週から来週にかけては、円が対ドルで一気に上昇することを阻む材料もある。それは極東での緊張だ。今朝のニュースによると北朝鮮が12日から始まる数日間でのミサイル発射実験と相前後して、三回目の核実験を行う可能性が報じられているからだ。日本のニュースメディアは韓国の聯合ニュースの報道として

「韓国の聯合ニュースは8日、消息筋の話として、北朝鮮北東部の咸鏡北道吉州郡豊溪里（ハムギョンプクト・ギルジュグン・プンゲリ）で、3度目の核実験の準備を進めている模様だと報じた。衛星写真から、新たな坑道の掘削工事が終了段階にあることが分かった。一方、北西部の平安北道鉄山郡東倉里（ピョンアンプクト・チョルサングン・トンチャンリ）では、「衛星打ち上げ」名目で進めている事実上の長距離弾道ミサイルの組み立て作業が完了したという。

豊溪里では、今月1日に米商業衛星が撮影した写真から、坑道入り口に別の場所から搬入されたとみられる土砂の山が確認された。これまでの例から、実験直前に坑道を埋め戻すのに使われる可能性がある。このため、韓国の関係当局は、北朝鮮がミサイルを発射後、核実験を強行する可能性が高いと判断しているという。」（毎日新聞）

としている。北朝鮮が人工衛星の発射だと主張しているミサイルの発射以上に、核実験は極東の緊張を高めるだろう。過去において北朝鮮はミサイルの発射と核実験をパッケージで行ってきたので、可能性はあると見たい。北朝鮮の新指導者である金正恩は年齢不詳ながら20代の青年であり、統治実績はゼロに等しい。あせって「統治の正統性」を組み立てている最中であり、何をするか分からない面がある。その意味では、極東の安全保障は危機に直面していると考えられる理由がある。

北朝鮮情勢の緊迫化は、ドル・円にとっては円安材料である。

今週の主な予定は以下の通りです。

4月9日(月)	3月景気ウォッチャー調査 日銀金融政策決定会合(10日まで) 中国3月消費者物価・生産者物価 ロシア金融政策委員会 休場/豪、仏、独、英、香港(イースター・マンデー)
4月10日(火)	白川日銀総裁記者会見 中国3月輸出/輸入 米2月卸売在庫 バーナンキ米FRB議長が講演 フィッシャー米ダラス連銀総裁が講演 コチャラコタ米ミネアポリス連銀総裁が講演
4月11日(水)	2月機械受注 韓国総選挙 ギリシャ国債の債務交換 米ベージュブック ジョージ米カンザスシティー連銀総裁が講演
4月12日(木)	米2月貿易収支 米3月生産者物価 米新規失業保険申請件数 コチャラコタ米ミネアポリス連銀総裁が講演
4月13日(金)	日銀金融政策決定会合議事要旨 (3月12日・13日開催分) 2月商業販売統計 韓国金融政策委員会 中国1-3月期GDP/3月鉱工業生産 /3月小売り売上高 /1-3月期固定資産投資 米3月消費者物価 米4月ミシガン大学消費者信頼感指数(速報)

《 have a nice week 》

週末は如何でしたか。日曜日の東京は土曜日の寒さから解放されて、まあ人出の多かったこと。タクシーの運転手さんによれば、桜が見られる場所はどこでも混んでいたそうですが、私が確認したのは九段下から千鳥ヶ淵にかけてなど。それはそれは大勢の方が桜を楽しんでいた。何せ土曜日に私は福生のゴルフ場で雪が舞うのを確認したほど寒かったので、日曜日は最高だったのではないのでしょうか。今日はもっと暖かくなるらしい。

桜話を続けると、今年一番「可哀想な桜」は、私が知る限りでは赤坂見附にほど近い旧赤坂プリンスホテルの前の桜でしょうか。毎年ビジネスマンの通常の歩行経路に沿った場所にある桜としては実に見事・綺麗で、毎年大勢の花見客を集めていたのに、今年はホテルから見ると工事壁が無粋にこの解体待ちのホテルを囲んでいるので、桜が良く見えない。おまけに、去年までは実に綺麗だったライトアップがないので、夜は真っ暗。実に寂しそうです。

もっとも昼間であれば、半蔵門の方から右手に赤プリを見て歩くと、また首都高からは今年も綺麗に咲いているのが見える。去年の春には通常営業をやめた赤プリは、まだ外見的には解体は始まっていない。どうやら内部から壊しているようなのだが、あのホテル前の傾斜地にある桜達はどうなってしまうのだろう。どこかに移して引き続き咲いて欲しいのですが。

なお今週末に筆者は数日間だけですが、ヨーロッパに行きます。主にギリシャを見るためですが、移動が多いためこのニュースを書けない可能性があります。休刊の可能性が高いので、ご承知おき下さい。

それでは皆さん、良い一週間を。

《当「ニュース」は三井住友トラスト基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、三井住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》